

令和7年度第1回木津川市立学校給食センター運営委員会会議録（会議要旨）

日 時 令和7年7月15日(火)午後1時～午後2時

場 所 木津川市役所 第二北別館 2階会議室

出 席 者 運営委員 35名

【教育委員会】

竹本教育長 平井教育部長、東村次長(学校教育課長)、事務局4名

1 開 会

2 教育長あいさつ

竹本教育長 あいさつ

【資格審査】

(事務局)

・運営委員会規則第6条第3項「運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。」と規定されており、44名中35名の出席があり会議が成立していることを報告。

3 会長選出

・運営委員会の役員は慣例により学校毎の輪番制となっており、令和7年度の役員を、資料に基づき、会長から監事それぞれに就任いただくことを報告。

4 議長選出

・運営委員会規則第6条第2項により梅美台小学校磯谷会長が就任。

5 議 事

(1) 令和6年度学校給食会計の決算報告について

事務局から学校給食会計決算書の内容について報告。

監査委員から会計処理は適正に処理をされていると報告。

【質疑】

なし

【採決】

賛成多数により、令和6年度学校給食会計決算は承認される。

(2) 令和6年度木津川市立学校給食センター事業報告について

事務局から学校給食センター事業について報告

【質疑】

なし

【採決】

賛成多数により、令和6年度木津川市立学校給食センター事業報告は承認される。

(3) 学校給食に関するアンケートの実施について

事務局から学校給食に関するアンケートについて、説明、報告。

【質疑】

なし

(4) その他

・給食全般の意見等

【意見等】

あり(別添参照)

6 閉 会

(別添)

(4) その他【意見等】

(委員)

給食費について、物価高騰も明らかでアンケート結果を見ても、値上げやむなしと言う回答が9割ぐらいあった。学校給食は、いろいろ努力していただいて本当にありがたいと思っている。給食費の物価高騰に対応する値上げは、十分筋が通る。また、地元の生産者に対しても、適正な価格で、食材が調達され、その地域の持続的な生産にも繋がってくれたらと思う。

(事務局)

給食の食材の高騰には非常に苦慮している。栄養教諭等が3ヶ月前から献立を検討しているが、食材の高騰により、使用する食材を変更し対応しなければならない。米の高騰は給食センターも同様で、来年度はさらに上がるという通知が来ている。米以外の鶏肉、調味料等に関しても、事業者から値上がりの予告がされている。

地場産の食材については、「農で頑張る協議会」との連携をさらに深め、積極的に使用していきたいと考えている。

(委員)

7月の七夕給食でこどもたちから、デザートを楽しみにしているという声も聞いている。状況が厳しいことも理解できるが、デザートを付けるという工夫をしていただきたい。

牛乳の保護者の負担額について、事務職員にメールで連絡があった。給食費の徴収、精算に係る事務、また牛乳欠食等の事務について、非常に大事な情報と思っているので、学校長あての通知という形でいただければありがたい。

(事務局)

貴重な意見として、受けとめる。

牛乳の保護者負担価格の通知の件について、牛乳の価格が毎年値上がりしている。来年度もこの物価高騰の中で、牛乳の値上げを見込んでいる。学校給食会から情報、通知が届き次第、校長先生、事務員あてに、通知という形で情報提供する。

(委員)

今回、このアンケートに回答させていただき、中学生の息子から、「今日この場で『量が少ない』と言ってきて欲しい」と頼まれた。中学生の成長期でたくさん食べたい子もいると思う。中学生の量を増やしてもらえるような値上げには同意するので、量を増やせるような献立を考えていただきたい。

(事務局)

今回のアンケート結果では、学年が上がるにつれて、量が少ないという意見も高くなっている。自由意見の記載の欄でも、「少ない」という意見が何件か見受けられた。

学校給食の摂取基準は、文部科学省で定められている。全国の平均的な男女の体格から出されたものを木津川市として採用しており、平均の男女の体格から割出した食事量を提供している。